

民主化闘争情報

816

2011年2月22日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

2月21日の衆議院予算委員会で自民党の平沢勝栄議員が質問に立ち、JR総連からの献金問題や浦和電車区事件、田城郁参議院議員の問題など多岐にわたって、政府の見解を問い質した。

衆議院予算委員会で追及が続くJR総連革マル問題vol.1

与謝野大臣「革マル代表が民主党比例に入っているのは許し難い」

開会中の第177回通常国会において、「JR総連への革マル派浸透問題」が再三にわたり取り上げられ、大きな政治問題となっている。すでに衆議院予算委員会で、2月1、8、10日の三回にわたり、自民党議員が同問題を追及しているが、21日の予算委員会ではNHKテレビで全国に生中継される中、平沢議員が多岐にわたって政府の見解を問い質した。

田城議員に關係する質疑の概要は以下のとおりである。

(平沢議員) 去年の参議院選挙の時の与謝野さんの発言です。「もう民主党には我慢ならない。一番ひどいと思うのは、あの過激派の革マルの代表が民主党の比例に入っているというのは、これはもう許し難いことだと思っております」、これはテレビでの政見放送で言われたんです。この認識は今も変わりませんか、与謝野大臣。

(与謝野経済財政政策担当大臣) 私は極めて常識的なことを言ったと思っております。

(平沢議員) 民主党は先の参議院選挙で、革マル派が相当浸透しているって言っているJR総連そしてJR東労組の組織内候補を公認しました。田城さんです。総理、自分たちが「革マルが相当浸透している」と「影響力を行使し得る立場に相当浸透している」って言っているその組織の中の候補者を公認候補として立てた。これはおかしくありませんか、総理。

(菅内閣総理大臣) 私も多少、かつての国鉄のいろんな歴史を知っておりますので、そういう問題については個人的には注意をしながら対応してきているつもりであります。今、ご指摘の問題は、私が代表になる前の段階で公認をされて手続きが終わっていたと、そう認識を致しております。

(平沢議員) だって今、参議院議員として活動しているんでしょう。そうしたら、やはり、おかしいんじゃないですか。この田城さん、JR東日本の事件の關係で家宅搜索も受けている。それがけしからんと言って賠償請求の訴えを裁判所に起こした、負けていますけれどもね。そういったこともやっている。そして、革マル創設者の松崎明さんの運転手兼ボディガードとも言われている。ここに田城郁さんのポスターがあるんですけども、ポスターには掲示責任者として名前が出ています。この田城郁さんの掲示責任者というのは、これ革マルそのものと言われている人です。それで住所が、品川区西五反田3-2-13となっていますけれども、この住所はどういう住所ですか。

(中野国家公安委員長) 目黒さつき会館。これは財団法人日本鉄道福祉事業協会が運営をしているものであります。JR総連の事務所も存在していると承知しています。

(平沢議員) 何度となく搜索が入ったところなんです。そこが掲示責任者の住所になっているんです。防衛大臣、これは、去年の2月の防衛大臣室での写真なんです。防衛大臣の後ろで田城議員がおられますけれども、一番右側におられるのはJR東労組中央執行委員長、革マル派と言われている方なんです。大臣はどういうご關係なんですか。

(北澤防衛大臣) 特段その何とかという方は、私は承知をしております。

(平沢議員) 内閣の危機管理はどうなっているんでしょうか。国家の最高機密の中核である防衛省に、国家を転覆させようという革マル派の幹部が堂々と入っていく。それを迎え入れている、大臣が。これ、危機管理上どうなっているんですか。

(北澤大臣) これは、公党である民主党が公認候補として扱っている人物でありまして、そこで、私はこのことについては、知識はありませんけれども、この方が反社会的で防衛省へ入れてはいけない国民であるのか、そのことは立証されているんですか。私はおかしいと思う。

(平沢議員) 何を言っているんですか。ご自分たちが内閣で、「その組合は革マル派が相当影響力を行使し得る立場に浸透している」って言ってるじゃないですか。皆さん方は署名しているじゃないですか。そういう組織の代表者じゃないですか。おかしいじゃないですか。